

地方CR活動

和歌山県協会

県内福祉保健施設 5 施設へ物品を寄贈しました

和歌山県協会（会長：森永 晓和〈第一生命 和歌山支社長〉）では、10月30日、「わかやま生保協会たすけあい募金」による県内福祉保健施設 5 施設への希望物品寄贈・目録贈呈式を、和歌山県庁内の会議室にて執り行いました。

はじめに、和歌山県福祉保健部 福祉保健政策局長よりご挨拶をいただき、その後、各福祉保健施設の代表者へ、森永会長より目録が贈呈されました。

施設代表者からは、「希望する品を寄贈いただき、本当にありがとうございます。皆様のご厚意は、私たちにとって大きな力となります。利用者がより快適に、安心して過ごせる環境づくりに役立てさせていただきます」と、感謝の言葉が述べされました。

目録贈呈後には、参加者全員で記念撮影を行いました。

なお、募金を財源とした福祉保健施設への物品寄贈は1990年から始まり、今年で36年目を迎えました。これまでに寄贈した施設数は、延べ228施設にのぼります。

和歌山県協会では、今後も一層、社会貢献活動に注力してまいります。

